



頼正乃墨枕

千多6
2301



卷六
2301

子
曰
用
天
之
道
因

子曰用天之道因
地之利謹身節用

子
曰
用
天
之
道
因

以養父母此庶人
之孝也

用天之道とは是を反
秋冬と福のゆゑなるは

春は耕一夏は草刈り秋は

刈冬は納む天道流の

徳いそ種物のよき植時ふ

と考へ健勝なる心算の義

と耕心此事三日如先

と考へ大よ私書事と云ふ

と考へ因地之利と云ふ

湯ふきは稲を植かん

けふは畑のを植かん

こゝろまじくは地をまかん

考へ憚るゝ工夫しては

公儀之御法度とて

公儀とて御法度とて

一

公儀の親心とて

公儀の御法度とて

子は親を敬ひ孝の目状

子心は夫は義理を以て

妻は夫を以て妻は夫の順を

以て夫を以て家たす

兄は弟より下知りて

兄は弟より下知りて

井川

兄は弟より下知りて

兄は弟より下知りて

いたうしよ頼一と書と相勸

め或ハ書物とて乃

古

送理をお正一と書物

片時を待たぬとて

さるるよ工夫わたりたむ

節用は善ら父母とよ

九五

りもさるるよ工夫わたりたむ

財貨よりかへたるるよ

かよふるもつらき世に
かよふるもつらき世に

の民は田畑の
物は

共

大なる年貢の
物

糠の
小米をて
家

泣くは世の人は

あはれに才と書く子から

た

親の心もむ

るまは世の人は

と必死父母好命を以て

うそ凍れしむらじり死

共

しはふ際の花糸子

おしむらじり死

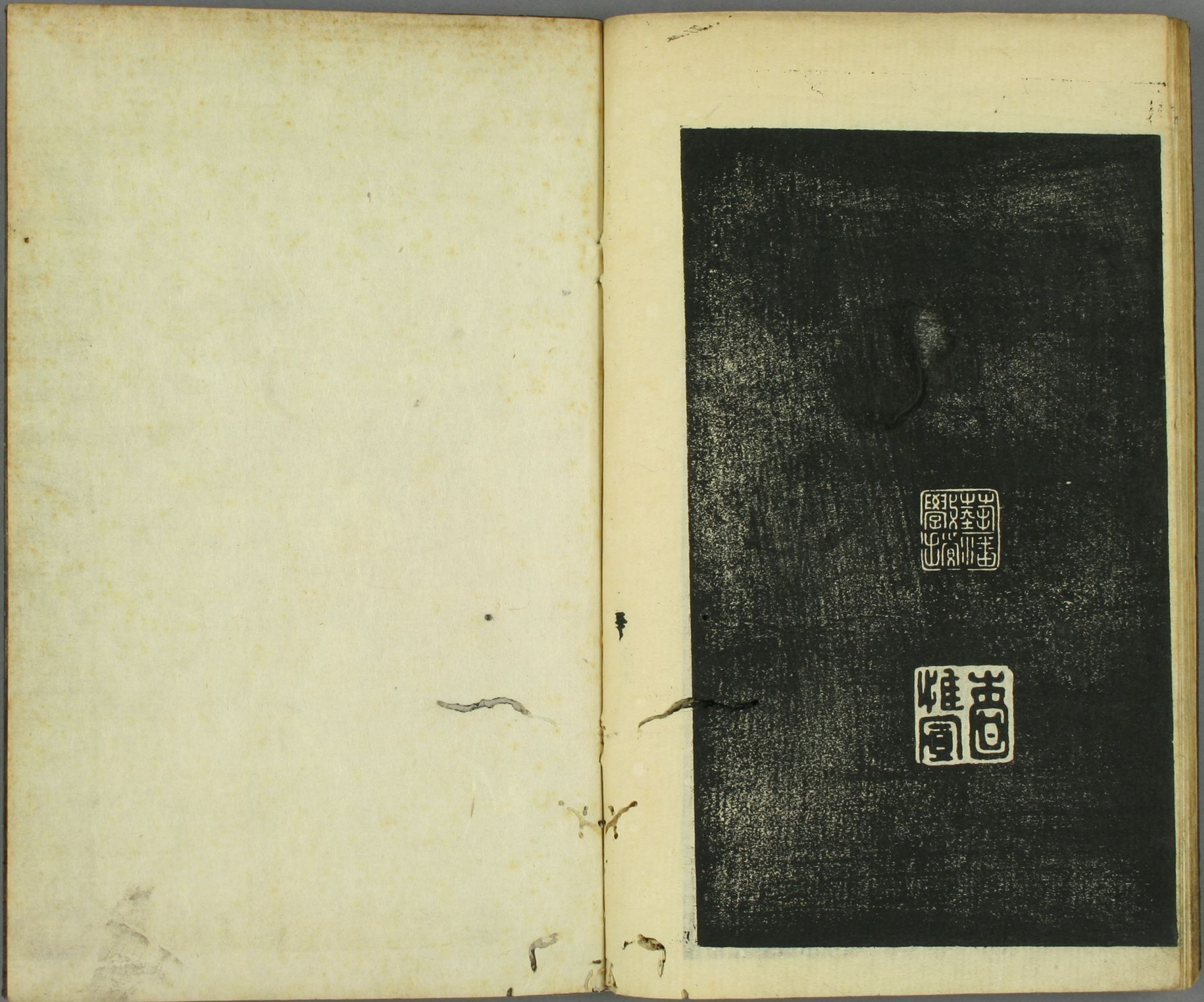
人之孝行也

右之十六字を不悔

廿九

唱心より身を行

事人間第一義也



陸子

惟圖

